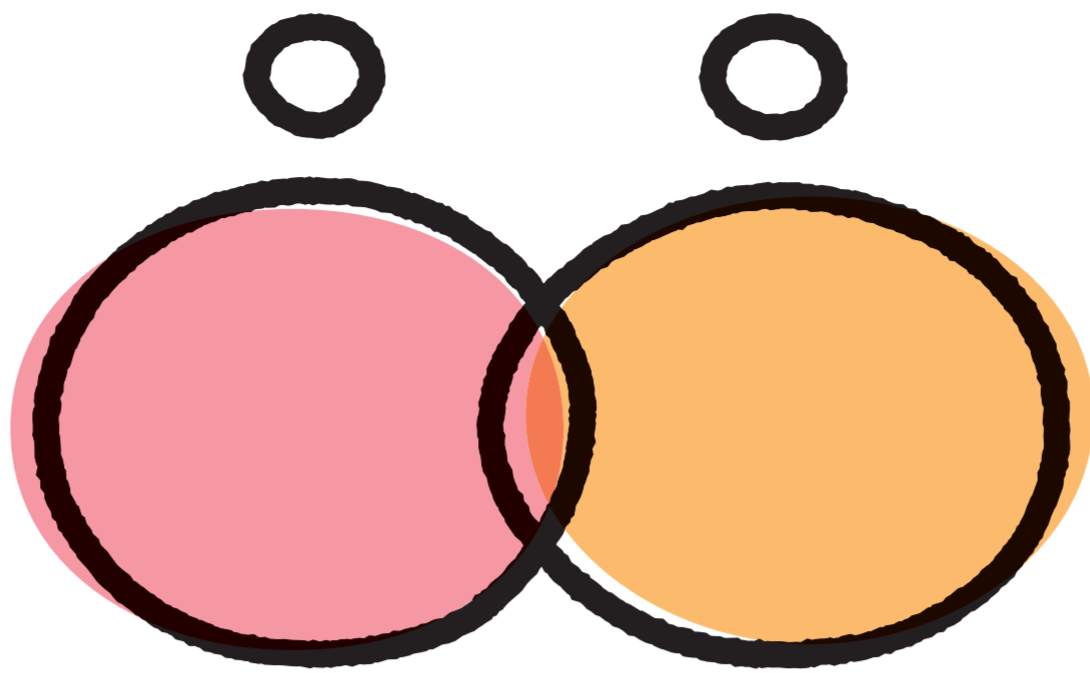


いっしょにアクション!



今できること プロジェクト 2013



金華山は震災の震源地に最も近かった場所です。古くから信仰と観光の島として知られてきましたが、震災後は観光客が激減してしまいました。
地震と津波、その後の台風の被害は甚大でした。中でも大きかったのは1以上の地盤沈下です。棧橋が使えず、震災前は毎日あった定期船が長らく就航できませんでした。地盤の緩んだ参道は台風や大雨で土砂が崩れました。境内には被害の爪あとが各所に残っています。

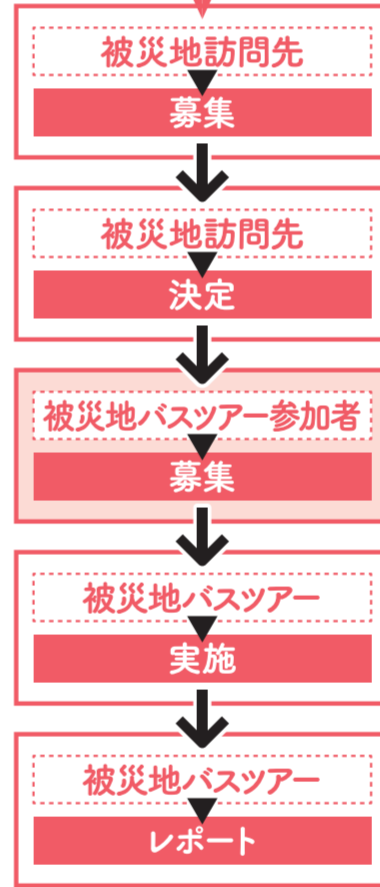
「被災地を訪ねる観光型支援」訪問先は金華山に決定! 信仰と観光の島、 魅力を味わって。



石巻市鮎川浜
金華山黄金山神社権補宜
日野篤志さん(38)

参道はボランティアなどの力を借りて被害のたびに仮復旧させ、安全に参拝いただけるよう整えました。定期船も今年5月ようやく再開(日曜日のみ)され、客足は戻りつつあります。それでも年間6、7万人だった震災前の半分にも達しません。
金華山は霊験あらたかな島であり、姿の美しい山でもあります。近年はトレッキングなども人気です。原生林が茂り、野生の動物がいる。自然と癒しに満ちています。
復興は道半ばです。金華山が元気だと、牡鹿半島全体が活気づきます。実際に来て、見ていただくだけで大きな支援になります。みなさんご訪問をお待ちしています。

企画実施の流れ



「今できることプロジェクト」2013年度の活動は、企業と市民がいっしょになって、具体的なアクションを展開していきます。「被災地を訪ねる観光型支援」について、訪問先地域・団体を募集したところ、多数のご応募をいただき、ありがとうございます。事務局にて訪問先を「金華山」に決定させていただきました。被災地の現状を自分の目で見て知っていただく「バスツアー」の参加者を募集いたします。ぜひこの機会に、今できることプロジェクトの活動にご参加ください。

豊かな自然が残る島、金華山。
牡鹿半島の先に浮かぶ離島。周囲260m、海拔400m超。恐山、中羽三山と並ぶ奥州三霊場に数えられ、中腹に金運、開運の神とされる弁財天を祭る黄金山神社がある。「3年続けて参拝すれば一生お金に不自由しない」と言い伝えがある。
神社の関係者数名が住むほかは住民はいない。島には野生のシカやサルも多く生息する。石巻市鮎川の鮎川港と宮城県女川町の女川港から観光船が出ている。

被災地を訪ねる観光型支援〈バスツアー〉参加者募集

応募締切

2014年1月7日(火)

訪問先/金華山 実施日/2014年2月1日(土)

行程

8:00仙台駅東口出発(貸切バス)▶女川港から観光船にて金華山へ▶金華山着、黄金山神社参拝など(神社内にて震災時の話など講話)
▶観光船にて女川港へ。その後昼食▶帰路お買い物タイム▶18:00仙台駅東口解散

※天候等により行程が変更になる場合がございます。※現地は坂道が多く、地震や台風の影響で歩きにくい場所があります。

募集概要

- 参加費用/「今できることプロジェクト」の一環として、招待します。ただし、昼食代の一部1名1,500円は参加者負担にてお願いします。また、河北新報社発行「東日本大震災全記録～被災地からの報告～」(定価1,500円)を進呈いたします。
- 募集人数/40名(応募多数の場合には抽選となります) ●食事条件/昼食1回 ●添乗員/同行いたします。
- 参加条件/①「今できることプロジェクト」の趣旨に賛同し、観光型支援についての理解をより深めたいと考えている方。
②当日配布する、当プロジェクトについてのアンケートに記入いただけること。
③当日顔写真を撮影させていただき、後日アンケート内容とともに新聞および特設HPに掲載させていただく場合があることを了解いただける方。

応募方法

はがき、メールにてお申し込みください。

- 応募者の住所・氏名・年齢・電話番号(日中連絡がしやすい電話)、応募動機、参加希望人数・参加希望者全員の氏名・年齢を明記してください。
※応募多数の場合には抽選となります。当選通知は当選者のみご連絡いたします。
※ご記入いただいた個人情報は河北新報社で管理し、当プロジェクトの運営にのみ使用します。
- 応募先/今できることプロジェクト「観光型支援」係
- はがき/〒980-8660(住所記入不要) ●Eメール/imadeki-info@po.kahoku.co.jp
※係名は必ずご記入ください。

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設HPにお寄せください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html

河北 今できること

検索

facebookページもあります。

●私たちが、被災地支援のため「今できること」をとともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/石巻専修大学/岩手日日新聞社/エイチ・アイ・エス/NEC/NTTデータ東北/キャンノンマーケティングジャパン/キリンビールマーケティング 東北統括本部/ケーズデンキ/サッポロビール 東北本部/サントリーピア&スピリッツ 東北支社/JA全農みやぎ/JTB東北/鈴木工業/住友生命 仙台総支社/住友不動産/住友林業 仙台支店/青南商事/セガサミーグループ/セキスイハイム東北/石油連盟/積和不動産東北/第一生命 仙台総合支社/大成ハウジング/大東住宅/タゼン/伝承千年の宿 佐勤/東海東京証券/東北ミサワホーム/東北三菱自動車販売/一般財団法人 日本手芸学会/日本政策金融公庫 仙台支店/日本製紙/日本製紙クレシア/日本生命 仙台支社/野村不動産/はとバス/平松剛法律事務所/ビルワーク/フージャースコーポレーション/富士通エフ・アイ・ピー/富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ/ベルモードスズキ/北洲ハウジング/松島一の坊/三井不動産/三菱地所グループ/宮城県建設業協会/宮城県自動車整備振興会/宮城県遊技業協同組合/みやぎ生活協同組合/明治安田生命 仙台支社/鷹泉閣 岩松旅館/リコージャパン 東北営業本部/河北新報社(順不同)

◎後援/宮城県、仙台市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会